

# 御池沼沢ニュースレター

令和5年4月19日 Vol.110

## 令和5年度もよろしくお願いたします

4月5日(水)の活動では、タケの駆除を予定していましたが、例年ほどタケノコが出ておらず、拍子抜けだったと思います。後日、タケノコの出具合を確認したところ、何本も出ていましたので、今年は、タケノコが出る時期が遅いようです。今後の活動で駆除したいと考えています。

今回は、これまでのタケ駆除対策について振り返ってみたいと思います。

目的：タケは成長が早く、成長のため土壌の水分を沢山使用し、その分湿地に供給される水が減っていることが推測されますので、湿地に供給される水を増やすため、タケを駆除します。

方法：隣地も竹林なので、隣地との境に防根シートを敷設した上で、雑木とタケが混ざるところはタケのみを伐採、タケの純林のところでは伐根まで実施しました。

伐根したところは、自然に雑木林に戻ることを待ち、伐採のみで根が残っているところは、タケノコの時期にタケノコを踏み倒し、タケを増やさないようにしてきました。初夏には、下草刈りと同時に切り残した細いタケを伐採し、光合成をして栄養を貯えさせないようにします。



伐採前 (H21)



伐根後 (H22)

作りだしたい状態：水源林としての機能を果たす雑木林

裸地に植樹することはせず、自然に雑木林が復元されるのを待っています。最近、細い木が多数生え、混みあいつつあるので、どのような植物で構成されるとよいのかを専門家に相談し、間伐を考えていきたいです。

(次回に続く)

5月の活動予定 午前9時30分から

5月13日(土)	西部指定地	タケノコ・タケ対策
5月17日(水)	東部指定地	松の木周辺食虫植物保全区域環境整備
5月24日(水)	西部指定地	南端食虫植物保全区域環境整備
5月31日(水)	西部指定地	タケノコ・タケ対策

# 御池沼沢ニュースレター

令和5年5月22日 Vol.111

前号では、御池沼沢植物群落（西部指定地）の水源林で、タケの駆除対策を継続して行っていることについて、目的・方法・作り出したい状態について整理しました。

今回は、これまでの対策について整理し、今後の作業についての見通しを得たいと思います。

## H20 竹林伐採（Aの範囲）

伐採後1～2年で、細くて葉が多いタケが生えてきて、3年目には竹林が復活。伐採するだけでは、根が残っており、伐採範囲外のタケから栄養が供給され竹林が復活するので、薬剤を使用せず駆除する方法について検討。



H25 伐採前

## H25・26 竹林伐採（B・C）・伐根（A・D）

## H27・28 防根シート敷設、タケノコ踏み倒し開始

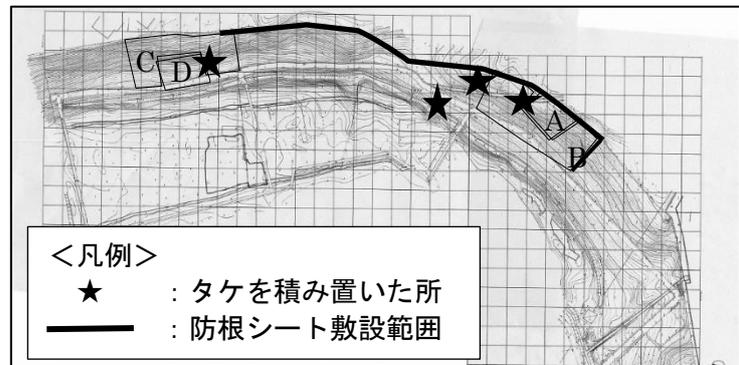
踏み倒しを始めたH27・28頃は、毎週踏み倒し作業を実施。踏み倒しを始めた最初の日に、踏み倒したタケノコの数を数えたことがありますが、100本を超えた時点で数えるのをあきらめました。最初は、職員2人で作業を行っていましたが、Bから踏み倒し作業を行い、Cまで終えて戻ってきたら、Aのところで、またタケノコが生えているのを目にする（おそらく見落としで、新たに生えてきたのではないと思いますが）ような状況でした。

## R1 A・Bの範囲でタケが減少（あくまで主観ですが）

## R3 Cの範囲でタケが目立つようになる（あくまで主観ですが）

踏み倒し作業を始めたH27には、5年程度で終わる予定でした。実際には、最初、主たる作業範囲と考えていたAとBでは、出てくるタケノコの数は5年目くらいから減ってきましたが、根絶には至らず、駆除はなかなか難しいです。Cの範囲についてもA・B同様であれば、R7頃にはタケノコが減ってくるのではないかと思います。

ところで、現地に積み置いたタケは、7年程度で土に戻るようです。古いタケを集積したことがありますが、2～3年前までは、タケが形を残していて、マムシの巣になっていないか不安で踏み込みにくかったですが、最近は、ようやくタケの形がなくなってきました。タケが置いてあったところはフワフワしていますので、現地で、土に戻った状況を確認してみてください。



## 6月の活動予定 午前9時30分から

6月7日（水） 西部指定地 中央観察橋付近ヨシ刈り取り

6月14日（水） 西部指定地 シラタマホシクサ付近除草

6月28日（水） 西部指定地 タケ・タケノコ対策（当初予定の24日（土）が観察会になったため、変更いたします。）

# 御池沼沢ニュースレター

令和5年6月23日 Vol.112

今号からしばらく、専門業者に委託して行いました、植生調査の成果について紹介いたします。

令和4年度は、令和3年度に引き続き、特に保護している植物の分布状況の確認調査を行うとともに、保全作業によって湿地の状態を維持できているかということについて調査と評価を行いました。

今回は、保護している植物のうち、分布が広がっている植物の紹介です。

<東部指定地>

ノハナショウブ



マツカサススキ



トウカゲソウ



コカモメツル



分布が広がっている要因として、特に松の木周辺については、草刈りにより日照条件が良くなり、周辺に生育する植物の生長が抑制され、生育に適した環境条件が作りだされていたことが挙げられています。

<西部指定地>

ノハナショウブ (写真は上左端)

カキラン



サギソウ



トキソウ



モウセンゴケ



分布が広がっている要因として、元々、日当たりが良く適潤な場所であったことに加えて、草刈りが頻繁に実施されてきたことで、競合する植物が少なくなり、生育に適した環境条件がそろったことが指摘されています。

植生調査では、冬と、春から夏の2回実施している除草作業は、湿地の植物の生育環境に良い影響を与えていることが確認されました。

**7月の活動予定** 午前8時30分から(開始時間が早まります)

7月8日(土) 東部指定地 ミクリガヤ周辺除草

7月19日(水) 西部指定地 タケ・タケノコ対策(下草刈り)

# 御池沼沢ニュースレター

令和5年7月18日 Vol.113

7月8日（土）の活動では、東部指定地で、ミクリガヤの穂の数のカウントと、周辺の除草作業を行いました。作業の結果、昨年確認したミクリガヤ自生地で、ミクリガヤが増えていることを確認しました。

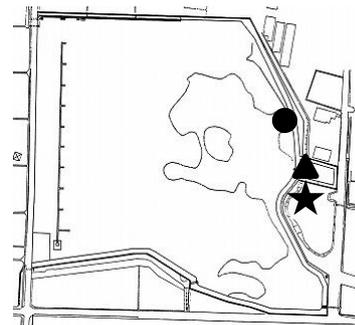
そこで、今号では、ミクリガヤについて紹介します。

## ミクリガヤ

カヤツリグサ科ミカツキグサ属の多年草  
根茎が横に伸びて広がる

## 確認できる場所

右図の●と▲のところ



## それぞれの由来・現状

### ●の場所のミクリガヤ

昭和27年 文化財指定時には生育（その後、見られなくなる）

平成3年 ★のところにあった池（指定地外）に生育していたものを移植



- 水際～浅い水中に生育
- 草丈50cm程度
- 3.5m×2.5m程度の範囲に生育（多く生育する範囲は2×2m程度）
- 穂の数が78本(R5)

### ▲の場所のミクリガヤ

昭和27年 文化財指定時には生育（その後、見られなくなる）

平成29年 復活のための生育環境整備で樹木の伐採・伐根実施

令和4年 生育確認（穂の数が9本）



- 水際から陸上に生育
- 草丈90cm程度
- 1.4m×0.7m程度の範囲に生育
- 穂の数が97本(R5)

8月の活動予定 午前8時30分から

8月26日（土） 東部指定地 夏の植物の観察（トウカイコモウセンゴケ・コモウセンゴケの見分けにチャレンジします）

# 御池沼沢ニュースレター

令和5年8月17日 Vol.114

7月8日（土）の活動では、東部指定地で、ミクリガヤの穂の数のカウントと、周辺の除草作業を行いました。作業時には、昨年確認したミクリガヤ自生地で、ミクリガヤが増えていることを確認しました。

今号も、前号に続きミクリガヤについて紹介します。

## ミクリガヤってどんな植物？

○カヤツリグサ科ミカツキグサ属の多年草

→御池沼沢植物群落でみられるその他のミカツキグサ属の植物として、ミカツキグサ・イヌノハナヒゲ・コイヌノハナヒゲなどがあります。これらの植物は、東部指定地ではマツの木周辺に、西部地指定では中央観察橋周辺で多くみられます。



○茎の断面がきれいな三角形をしています（冬の草刈りの時に確認したいですね）。

○種でも、根茎が横に伸びても増えます。



根元の様子

（わかりにくいですが、1本ずつ線状に並んでいるようです）



根茎のイメージ

（写真はヒメクグ（カヤツリグサ科）ですが、こんな感じと思われます）

## 9月の活動予定

9月9日（土） 視察研修（桑名市 多度のイヌナシ自生地**保全作業参加**）  
視察研修に参加をご希望の方は、9月1日（金）までに直接・電話・メールでお知らせください。8時50分に多度峡駐車場あるいは、8時にくるべ古代歴史館駐車場（大矢知町2323-1）集合です。

9月20日（水） 西部指定地 セイタカアワダチソウの抜き取り  
活動時間は、8:30～となります。

## 8月の活動予定 午前8時30分から

8月26日（土） 西部指定地 夏の植物の観察（集合場所を西部に変更します）

# 御池沼沢ニュースレター

令和5年9月19日 Vol.115

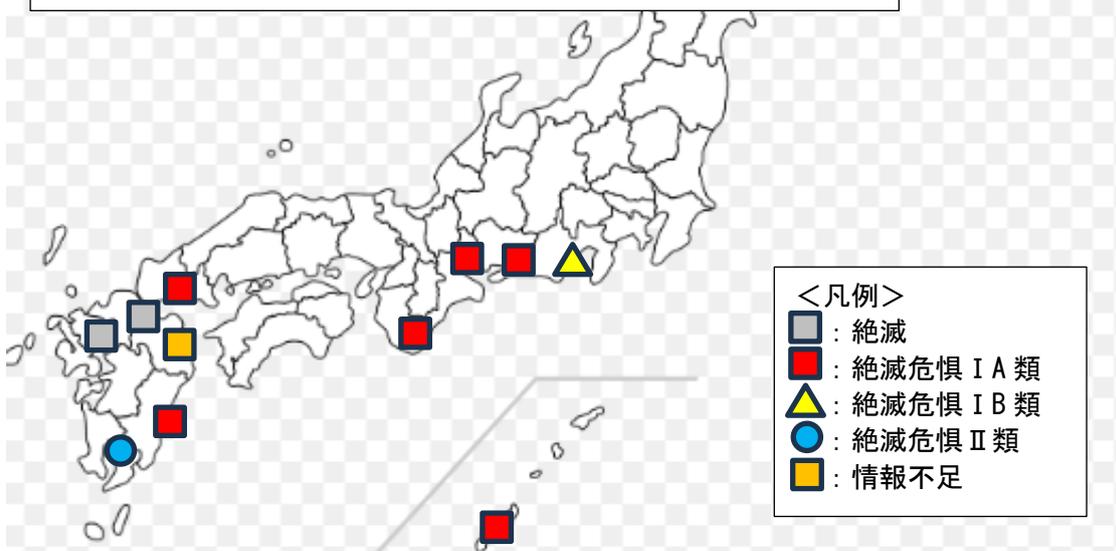
前号から引き続き、ミクリガヤのことです。

三重県のレッドデータブック 2015 では、「ごく近い将来における野生での絶滅の危険性が極めて高い」絶滅危惧ⅠA類となっていますが、全国的にはどのような位置づけでしょうか。環境省レッドリスト 2020 では、「ⅠA類ほどではないが、近い将来における野生での絶滅の危険性が高い」絶滅危惧ⅠB類となっています。日本国内ではどの県に分布するのでしょうか。

<日本のレッドデータ検索システムHP掲載のミクリガヤ生育県>

※ ( ) 内は各県のレッドデータブックの作成年次

静岡県 (2019)	愛知県 (2020)	三重県 (2015)
和歌山県 (2022)	山口県 (2019)	福岡県 (2001)
佐賀県 (2020)	大分県 (2022)	宮崎県 (2020)
鹿児島県 (2019)	沖縄県 (2018)	



なお、愛知県や静岡県の分布地は、県内南寄りなので、どうやら御池沼沢は、ミクリガヤ生育の北限で間違いなさそうです。

<参考>

- ・日本のレッドデータ検索システム HP (NPO 法人野生生物調査協会、NPO 法人 Envision 環境保全事務所)
- ・生物情報収集・提供システムいきものログ HP (環境省・生物多様性センター)
- ・各県のレッドデータブック HP

10月の活動予定 午前9時30分からに戻ります

10月7日(土) 東部指定地 抑制植物除去作業

10月18日(水) 東部指定地 抑制植物除去作業

10月25日(水) 東部指定地 抑制植物除去作業

10月から西部指定地で井戸工事が始まります。安全のため、活動はしばらく東部指定地になります。

# 御池沼沢ニュースレター

令和5年10月26日 Vol.116

9月23日(土)に、令和5年度第3回自然観察会を開催しました。当日は、ようやく秋めいた天気の中、講師に専門家を招き、解説が行われました。東部指定地の後、西部指定地へ行く盛沢山の観察会で、市内外からの参加者13名の方々に満足いただける内容となりました。今回は、観察会の様子をご紹介します。

なお、来年度も観察会を行う予定ですので、ぜひご参加をお待ちしております。

【東部指定地】 コバノカモメヅル、コカモメヅル(コバノカモメヅルより希少)、マツカサスキ、ミカワシンジュガヤ、マネキシソウ、ホザキノミミカキグサ、ミミカキグサなどを観察しました。



松の木周辺



マツカサスキ

【西部指定地】 ヘビノボラス、ヤチヤナギ、サワギキョウ、ヒメシロネ、サワシロギク、ホザキノミミカキグサ、ミミカキグサ、ムラサキミミカキグサ(変種?)などを観察しました。



南観察路



サワシロギク

11月の活動予定 全て東部指定地(西部は井戸工事のため閉鎖します)

11月8日(水) 9:30~ 抑制植物の抜き取り

11月18日(土) 9:30~ 抑制植物の抜き取り

11月30日(木) 9:30~ 草刈り

※ 8日は熟年大学の方がボランティア活動と一緒に作業を行います。

(雨天時は18日に順延)

◎30日はハルリンドウの復活のことで、愛知教育大学の先生が御池沼沢に来られます。一緒にお話しを聞いて、作業しませんか。

# 御池沼沢ニュースレター

令和5年 11月 13日 Vol.117

以前、ニュースレター112号で、令和4年度に専門業者に委託して行いました植生調査の結果のうち、分布が広がっている植物について紹介しましたが、間が空いてしまいましたが、今号は、保護しているにも関わらず、残念ながら分布範囲が狭まっている植物について紹介いたします。

<東部指定地>

ミズギボウシ



ミカワシンジュガヤ



コムラサキ



調査結果には、減少の原因についての記述がありませんが、これらの植物の生育範囲では、増えている植物もあるので、環境の悪化では説明しきれないと思われます。ミカワシンジュガヤは湿地の中でも裸地を好むということを知っています。植物ごとに、詳細な環境整備が必要なのかもしれません。

<西部指定地>

ノカンソウ



ミズギボウシ



クロミノニシゴリ



調査結果によると、ヨシやヌマガヤに被圧されていることが、分布範囲を狭めている要因として挙げられています。ノカンソウは、湿地入り口のヤチヤナギやシラタマホシクサの生育地周辺や中央観察橋東南側で葉が沢山見られますが、葉を見かける割に花が少ないと感じています。ノカンソウが開花するように、他の植物を刈って日当たりを良くするなど環境を整える必要があります。

## 12月の活動予定

- 12月10日(日) 東部指定地 全面除草 午前9時から
- 12月20日(水) 東部指定地 ハンノキ伐採 午前9時30分から

12月10日(日)は、例年同様、東部指定地にて、午前9時~11時まで地元の方々と除草作業を予定しております。ご協力いただける方は、12月5日(火)までに、直接、電話あるいはメールで文化課までご連絡ください。お待ちしております。

なお、当日お車は、大池中学校の武道場横に駐車していただきますよう、お願い申し上げます。

# 御池沼沢ニュースレター

令和5年12月15日 Vol.118

11月30日(木)、5人のボランティアさんに来ていただき除草作業を行いました。また、当日は、「おかざき湿地保全活用協議会」が視察に来られました。協議会会長の愛知教育大学 渡邊幹男教授には、東部指定地のトウカイコモウセンゴケ、ミミカキグサ、ハルリンドウ、ホソバリンドウ、ミクリガヤなどの様子を見ていただき、発芽について大変有意義なアドバイスをいただきました。特にハルリンドウについては、ボランティアのみなさんに手伝っていただいて草刈を行い、今後の発芽に期待を寄せるものとなりました。さらに、御池沼沢ボランティアと協議会のみなさんとの触れあう機会ともなりました。

アドバイスの内容は、今後みなさんにお伝えしたいと思っています。



おかざき湿地保全活用協議会のみなさん



ハルリンドウの箇所



ミクリガヤの箇所



ホソバリンドウの箇所

## 1月の活動予定

東部指定地に集合して下さい。

1月13日(土)	9:30~	ミクリガヤ自生地	保全作業
1月17日(水)	9:30~	ヤチャナギ周辺	保全作業
1月24日(水)	9:30~	ヤチャナギ周辺	保全作業

みなさまのご参加をお待ちしています。

# 御池沼沢ニュースレター

令和6年1月18日 Vol.119

## あけましておめでとうございます

本年もよろしくお願いいたします。

ニュースレター117号に続き、令和4年度に専門業者に委託して行いました植生調査の結果について、ご紹介いたします。今回は、みなさんと行ってきました、環境保全作業の効果についてです。

令和4年度の植生調査では、東部指定地と西部指定地に、4㎡(2×2m)のコドラート(調査区)をそれぞれ6か所ずつ設定し、6月と9月の2回、コドラート内に出現する植物を記録しました。環境保全作業の評価は、コドラート内で確認した植物の記録を、過去の調査記録やコドラート相互間で比較することで行いました。各コドラートごとに、詳細な評価がありますが、ここでは、全体的な傾向について整理します。

<過去の調査記録との比較>

○1年2回(冬+5~6月)除草箇所

(西部)湿地性の植物が生育する環境を維持。ただし、ヨシの分布拡大は抑えられていない。

(東部)貧栄養湿地に生育する食虫植物の生育可能な環境を維持。

○1年1回(冬)除草箇所(東部指定地)

ヤマアワやセイタカアワダチソウなど草原に生育する植物の分布拡大を抑制している。

○2年に1回(冬)(西部指定地)

地盤高が上昇している可能性があり、乾燥化を防ぐほどの効果が得られていない。

○除草作業をしていない場所

乾燥化が進んでいる。

<コドラート相互間の比較>

○1年2回(冬+5~6月の除草)除草箇所と1年1回(冬)除草箇所の比較

5~6月の除草作業は、貧栄養湿地に生育する食虫植物の生育可能な環境を維持するのに効果的である。

○1年1回(冬)除草箇所と除草作業をしていない場所の比較

1年1回冬季の除草は、陸地化の進行を抑制する効果がある。

5~6月の除草作業は、効果があると評価されています。植生に注意しながら、今後も続けていきたいですね。

### 2月の活動予定

2月 4日(日) 西部指定地 全面除草 午前9時から

2月 7日(水) 西部指定地 ヤチヤナギ周辺除草 午前9時30分から

2月 14日(水) 西部指定地 ヤチヤナギ周辺除草 午前9時30分から

2月4日(日)は、例年同様、西部指定地にて、午前9時~11時まで地元の方々と除草作業を予定しております。ご協力いただける方は、1月29日(月)までに、直接、電話あるいはメールで文化課までご連絡ください。お待ちしております。

なお、当日お車は、大池中学校に駐車していただきますよう、お願いいたします。

# 御池沼沢ニュースレター

令和6年2月20日 Vol.120

2月4日(日)は、12月10日の東部指定地につづき、西部指定地で冬季除草作業を行いました。

当日は、ボランティアの皆さんのほか、地元のふるさと三重を愛する会の方を合わせ総勢26人で作業を進めました。

今回は、中央観察路南側の草刈機による全面除草と、ヤチヤナギ保護区の手刈りによる除草を行いました。前週の大雪のせいで草が倒れていたため、草刈りがしにくかったのですが、予定の範囲をほぼ終えることができました。今後も御池沼沢植物群落の環境保全のため、除草を行ってまいりますので、ご協力をどうぞよろしくお願い致します。



草刈機による除草



ヤチヤナギ保護区の手刈り

**3月の活動予定** 東部指定地に集合して下さい。

3月6日(水) 9:30~ 東部指定地保全作業

なお、2月14日のボランティア活動の際に、昨年11月30日に来られた愛知教育大学 渡邊幹男先生がこの日に再来予定とお話ししましたが、日程が変更になりそうです。日程が決まり次第、別途お知らせします。専門家のお話しを聞ける絶好の機会です。皆様のご参加をお待ちしています。

**令和6年度 御池沼沢植物群落環境保全ボランティア募集**

私たちと一緒に活動していただける「御池沼沢植物群落環境保全ボランティア」を来年度も募集します。引き続き御池沼沢を守り、未来へつなげましょう。

・応募期限 3月 8日(金)

・説明会 3月16日(土) 9:30~ 神前地区市民センター

皆様のご応募をお待ちしています。詳しくは市ホームページまたは広報よっかいち2月下旬号をご覧ください。

# 御池沼沢ニュースレター

令和6年3月29日 Vol.121

## 今年度もありがとうございました

令和5年度も活動にご参加いただきありがとうございました。この1年の主な活動を振り返ってみました。



東部 食虫植物生育範囲除草 (5/17)



西部 ヨシの刈り取り (6/7)



東部 ミカガヤ生育地除草 (7/8)



東部 セウカワダ 刈り抜き取り (10/18)



おかざき湿地保全活用協議会視察(11/30)



西部 全面除草作業 (2/4)

来年度もよろしくお願ひします。

4月の活動予定 午前9時30分から

4月 10日(水) 西部指定地 タケ駆除(タケノコ掘り)

4月 20日(土) 西部指定地 ヨシ除草